

職場に迫る「超高齢社会」の影

～介護離職から「エース」を守れ～

入場無料

会社の中核を担う40代から50代といった世代が親の介護に直面し、仕事と介護の両立が問題となるケースが急増しています。今回のセミナーでは、仕事と介護の両立ができる会社の仕組みを策定することで、会社が中核人材を失わずにすむ提案を、経営者様や人事担当者様にご紹介します。

主催：株式会社阪南ビジネスマシン/日通システム株式会社

セミナーテーマ

基調講演 職場に迫る「超高齢社会」の影 ～介護離職から「エース」を守れ～

講師：アヴニール労務事務所所長 柿野 元博 氏

人口の多い団塊の世代が退職期に入り、加速度を増した超高齢社会の職場への影響は、今や「待ったなし」です。

日本が突き進む「超高齢社会」では、介護が必要なお年寄りが増えていく一方、少子化や上昇している未婚率の影響で、家庭の中で介護を行うことがもはや難しくなっている現実があります。

育児休業に比較し、介護休業については社会の仕組みも未成熟な状況で、何をすればいいかわからない企業が大多数です。

働きながら介護ができない職場であれば、要介護者を抱える従業員は退職を選択せざるをえない不幸な局面も出てきます。

しかもその従業員は、企業の中核を担っている40代～50代。

後手に回って大切な戦力を失い、職場の混乱や市場競争力の弱体化といった状況に至らぬよう、介護離職に関する知識と、企業側でのハード、ソフト両面での準備についてご紹介いたします。

- 介護に関する使用者の義務と介護保険の知識
- 新しい勤務体系の検討
- ITの進化が追い風「在宅勤務」
- 就業規則の改定と新制度の周知（人事制度の落とし穴）
- 国が企業の仕組みづくりを支援する助成金

NECが実践する新しいテレワークスタイル

講師：日本電気株式会社

「テレワーク※」とは情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことです。

NECでは全社員約20,000人を対象として在宅勤務も含めたテレワークの実践環境を整えております。本セミナーではNECがどのようにテレワークの実践環境を導入したのか、事例を交えてご紹介いたします。

※「tele = 離れた所」と「work = 働く」をあわせた造語

<就業・人事・給与>統合ERPパッケージ 「勤次郎Enterprise」のご紹介

講師：日通システム株式会社

介護休暇や短時間労働など、仕事と介護の両立の上で欠かさない、様々な制度利用をサポートするソリューションをご紹介します。

- 介護休暇、介護短時間労働への対応
- ASPIによるクラウド打刻
- フレックス勤務への対応
- 時間単位有給の管理

開催日時・場所

開催日時

2014年10月24日（金）

14:00～17:00（13:30受付開始）

定員：先着順 20名

開催場所

〒532-0003

大阪市淀川区宮原三丁目4番30号 ニッセイ新大阪ビル18F

TEL：06-6391-1117 FAX：06-6391-1112

※JR各線・大阪市営地下鉄御堂筋線「新大阪駅」下車 4番出口より徒歩1分



講師紹介

アヴニール労務事務所所長 柿野 元博 氏

宮城県出身。

株式会社オービックにて業務システム開発のSE、プロジェクトリーダー、管理職を歴任。

特に人事労務系システムにおいて、100社近い企業に対して業務改善提案からシステム開発・納品・稼働サポートに携わる。二十数年の勤務を経て、社会保険労務士として独立・開業。開業後は、会社を守る就業規則の策定や人事制度、賃金制度のコンサルタントの他、セミナー講師として活動。

特定社会保険労務士。ファイナンシャルプランナー。日本報連相センター会員。

URL: <http://www.avenir-sr.jp>



※プログラム内容、講師等は止むを得ない事情により変更となる場合がございます。

お問合せ先：株式会社阪南ビジネスマシン

大阪支店 菅（スガ） TEL：06-6767-3553
〒540-0005 大阪市中央区上町1丁目1番24号

お申し込みは、裏面お申し込み書に必要事項をご記入の上、FAXにてご送付ください。